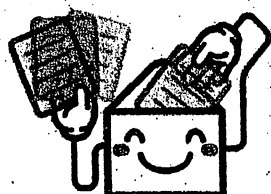


1ねん学年だよ!

平成28年1月22日(金) 第31号



《道具を使う》ということ



どんなに便利な《道具》も、初めは上手に使いこなせないものです。その分かりやすい例が「火」です。今日は、《道具》ということについて、「火」の話から始めます。



原始時代の人類は、それまでずっと恐れていた「火」を、なんとかして上手に使いこなそうと努力しました。なにせ「火」は、たとえ1ミリの火種でも、その扱い方を誤ると火事を引き起こし、大きな被害をもたらします。だから、ようやく自分で火を起こせるようになって、起こした火を上手に管理しなければなりません。やがて人類は、火を上手に管理しながら、その火を大きくしたり小さくしたり、つまり、使い道によって大きさを調節できるようになりました。大変な時間と労力を必要としていた“火起こし”も、マッチやライターを発明して、一瞬でできるようになりました。「使い方を誤ると大きな被害をもたらす」という点は現代もなお変わりませんが、火が便利な《道具》であることには違いがありません。火を使いこなすことから、人類の文化は大きく発展していったといっても過言ではないでしょう。



このような「道具を上手に使いこなす」ということを、スマホ(LINE)のトラブルの話をするとときに思います。便利な道具であるはずのスマホを上手に使いこなせないことで、トラブルは起きます。たとえば、火を上手に使いこなせない原始時代の人にいきなりマッチやライターを渡したら、きっと大火事を引き起こしてしまうでしょう。それと同じように、“上手にスマホを使いこなせない人”にスマホを持たせたとき、トラブルになるのです。スマホを使いこなすためには、機械そのものの知識よりも、やはり「使い方を誤ると大きな被害をもたらす」ということへの【自覚】が必要です。その自覚のない人は、スマホなど持つべきではないのです。現代は、一昔前にあったような「中学生に携帯電話は不要だ」という議論が意味をもたない時代です。だから、これまで以上に「使い方を誤ると大きな被害をもたらす」という【自覚】が必要です。これからの現代に生きる私たちは、その自覚をもったとき初めて、便利で豊かな生活を送ることができるのです。この文明の発展は、「進化」といえるかもしれません。



「聴き方名人」・「話し方名人」になろう



ある小学校(2年生)の教室に右のような掲示物がはってありました。小学2年生に対してのものではありませんが、なかなか奥深いと思いませんか? 分かってはいても、なかなかできないこともあります。「いいところを見つけて」や「うなずきながら」など、実践できていない人がたくさんいるように思います。

その掲示物の横に、《はなしかためいじん》という掲示物もありました。「きこえるように」や「くちをしっかりとめて」など、そういわれれば理解できますが、ちょっとドキッとします。では、「こ」のところにはどんな内容が入るでしょう? ここには、コミュニケーションの上で、とても大切なことが入ります。正解は【こころをこめて】です。本当に、これらが自然とできる人は、「名人」といってもいいですね。小学校2年生に負けてはいられませんよ。



ちなみに、その教室には、右のような掲示物もありました。これもやはり、58期生に当てはまります。前回の「学年だより」で【当たり前のことを当たり前に】という話をしましたが、小学2年生にもいえるぐらいだから、これはまさに【当たり前のこと】です。そのクラスの授業を参観したのですが、誰かが指名されて発言するとき、他の人は全員がその人の方を向くことになっていました。顔だけではなく、体ごとその人の

方に向けるのです。そして、一番前の列に座っている人が発言するときは、立って、後ろを向いて発言します。つまり、みんなが③を実践しているのです。誰かが発言するとき、他のみんなが心も体もその人に向ける——、とても温かいクラス、温かい授業でした。

ききかためいじん

- ㊤ あいてを見て
- ㊩ いいところを見つけて
- ㊥ うなずきながら
- ㊦ えがおで
- ㊧ おわりまで

はなしかためいじん

- ㊀ かおを見て
- ㊁ きこえるように
- ㊂ くちをしっかりとめて
- ㊃ けいごで
- ㊄ ()

- 学習の構え
- ① 休み時間のうちに次の授業の準備をする。
 - ② 授業の初め、終わりのあいさつをきちんとする。
 - ③ 話をしている人の方を向いて聴く。



保護者のみなさまへ

先週、チャレンジテストが無事に終わりました。そのチャレンジテストが13日に入ったことによって日程が後ろにずれていた実力テストは、来週26日(火)に実施されます。5教科のテストを1日でおこなうため、生徒にとっては重みを感じにくいようですが、中間テストや期末テストと同じ重みをもつ大きなテストです。ご家庭でも話題にさせていただきたいと思います。

